

1. 授業の概要(ねらい)

学校図書館は、学校の中で行われる教育活動のすべてに関わりを持つ。司書教諭は学校図書館運営の中核を担い、学校図書館活用教育を推進するリーダーとなることが求められる。この講義では、学校全体の教育活動の視点から、司書教諭として活動する際に必要な基本的な事項(学校図書館の役割、機能、活動など)を把握することをねらいとする。授業内では、テーマごとにグループディスカッションを行い、クラスで意見交換と共有を実施します。また、授業後半では、どのような学校図書館を作りたいかについて全員に発表を行ってもらいます。

2. 授業の到達目標

これから学校図書館について学んでいく上で最低限押さえておくべき知識や考え方を理解すること、学校図書館を活用した教育について自分なりの考えを持てるようにすることを目標とする。

- ・現在の学校教育をめぐる課題を踏まえながら、司書教諭の役割について自分の考えを説明できるようになる。
- ・学校図書館の現状と課題を説明できる。
- ・学校図書館の運営に必要な考え方と内容(学校図書館の役割、学校図書館法の内容、学校図書館の運営方法、学校図書館活用教育の意義と内容など)を説明できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

試験(80%)、発表(20%)、授業への貢献度(ディスカッションへの積極的参加、質問内容等)も必要に応じて考慮する。

4. 教科書・参考文献

教科書

鎌田和宏著 『入門 情報リテラシーを育てる授業づくり:教室・学校図書館・ネット空間を結んで』2016 少年写真新聞社

神代浩、中山美由紀編著 『学校図書館の挑戦と可能性(困ったときには図書館へ2)』2015 悠光堂

全国学校図書館協議会監修 『司書教諭・学校司書のための学校図書館必携:理論と実践』2015 悠光堂

原田由紀子著 『東出雲発!学校図書館改革の軌跡:身近な図書館から図書館活用教育へ』2012 国土社

遊佐幸枝著 『学校図書館発 育てます!調べる力・考える力:中学校の実践から』2011 少年写真新聞社

5. 準備学修の内容

- ・自身の通った小学校、中学校、高校の学校図書館の様子を振り返り、どのような工夫がなされていたか、どのような点に課題があったかを考えておくこと。
- ・履修年度に教育実習に行く予定がある人は実習先の学校図書館を観察し、司書教諭や学校司書に学校図書館活動について話を伺っておくこと。

6. その他履修上の注意事項

- ・初回のオリエンテーションで、成績評価、授業の進め方、持ち物等について説明するので、必ず出席してください。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---------------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス:学校図書館と「司書教諭」 |
| 【第2回】 | 学校図書館の理念と教育的意義 |
| 【第3回】 | 学校図書館の歴史の変遷 |
| 【第4回】 | 教育行政と学校図書館 |
| 【第5回】 | 教育課程と学校図書館 |
| 【第6回】 | 学校図書館を活用した授業実践の実際 |
| 【第7回】 | 学校図書館の組織、方針、運営計画 |
| 【第8回】 | 司書教諭の役割と校内の協力体制、研修 |
| 【第9回】 | 学校図書館メディアの選択と管理、提供 |
| 【第10回】 | 学校図書館の施設・設備 |
| 【第11回】 | 学校図書館活動の実際(1)図書館利用教育、探究学習 |
| 【第12回】 | 学校図書館活動の実際(2)読書指導 |
| 【第13回】 | 特別なニーズを持つ児童生徒と学校図書館 |
| 【第14回】 | 相互協力、学校図書館運営の評価 |
| 【第15回】 | まとめ |